

平成25年度芦屋市施政方針より抜粋

また、市民の皆さまの参画と協働のもと、緑ゆたかな世界一美しいまちを目指して、地区計画やまちづくり協定などのルールの方針を推進することや独自の施策を行うことができる景観行政団体を目指し、良好な住環境の形成に努めてまいります。

本市におきましては、学校や市営住宅などの建築施設の約4割が建設から30年以上を経過しており、また、道路・橋梁及び上下水道などのインフラにつきましても老朽化が進みつつありますので、「公共施設の保全計画」「道路橋長寿命化修繕計画」等に基づき効率的かつ適切な維持管理を計画的に進めてまいります。

また、公光町の旧芦有開発本社跡を整備し、本年4月から1階を男女共同参画センター、2階をあしや市民活動センターとして活用し、市民の皆さまの活動を支援してまいります。

市立芦屋病院につきましては、本年2月下旬の駐車場棟の完成と3月末の公園・緑地整備が完了することにより、新しい芦屋病院が完成します。3月24日に開院60周年記念式典として、ルナ・ホールで記念講演・コンサートを執り行いますので、議員各位をはじめ市民の皆さまのご来場をお待ちしております。

第三は、子どもたちが心豊かに健やかに成長するための基盤整備です。

昨年、法整備が行われた子ども・子育て支援への取組につきましては、「子ども・子育て会議」を設置し、「子ども・子育て支援事業計画」の方針に向けて取り組んでまいります。

喫緊の課題である保育所待機児童の解消に向けた取組として、認可保育園の開園を進めるほか、認定こども園の推進に向けた検討も行ってまいります。また、市立幼稚園全園において、預かり保育を実施するほか、園児数が減少傾向にある浜風幼稚園の今後のあり方について教育委員会と協議を進めてまいります。さらに、市立芦屋病院で病児保育を実施するなど、子育てしやすい環境づくりを進めてまいります。